
伊勢崎佐波地区 景気動向調査

No.60 2018.1~3月期

Contents

- 概況 …… 今期の業況判断は、2期連続で改善
来期は横ばいの見通し
- 特別調査 …… 「経営者の健康管理と事業の継続について」

 伊勢崎商工会議所

 アイオーしんきん

調査方法について

伊勢崎商工会議所とアイオー信用金庫が共同し、伊勢崎市及び佐波郡玉村町内の企業386社にご協力いただき、面談または聴取りによる調査の回答を集計したものです。

製造業、卸売業、小売業、建設業、サービス業の5つの業種について3か月ごとに景気の動きを調査し、最新の動きをまとめております。

独立行政法人中小企業基盤整備機構並びに日本商工会議所の実施する全国規模の調査結果を一部引用しております。また、毎回テーマを設け「特別調査」を実施しております。

今回の調査について

調査時期	2018年3月
調査内容	① 今期の状況：前年の同時期（2017年1月～3月）と比較した今期（2018年1月～3月）の状況及び前期（2017年10月～12月）と比較した今期の状況。 ② 来期の見通し：前年の同時期（2017年4月～6月）と比較した来期（2018年4月～6月）の見通し。
調査方法	伊勢崎商工会議所及びアイオー信用金庫の調査員による面談または聴取り調査
調査対象企業数	伊勢崎市及び佐波郡玉村町内の企業 386社
回答企業数	365社
回答企業業種別内訳	下表のとおり

業種	回答企業数	調査対象企業数	回答率
製造業	108	117	92.3%
卸売業	26	29	89.7%
小売業	91	93	97.8%
建設業	59	61	96.7%
サービス業	81	86	94.2%
合計	365	386	94.6%

調査結果の分析について

調査結果の分析には、判断指数（Diffusion Index—D.I.）を用いております。この判断指数（D.I.）とは、「良い」とする回答数から「悪い」とする回答数を引き、全体に占める割合を算出したもので、この指数の変動により、景気の動いている方向を判断するために用いられます。

1. 業況

今期の業況判断は、2期連続で改善 来期は横ばいの見通し

今期（2018.1～3）の企業の景況感を示す全業種の業況判断 D.I. は、 $\Delta 4.9$ と前期（2017.10～12： $\Delta 5.5$ ）との比較で 0.6 ポイント改善し、2期連続の改善となりました。業種別の業況判断 D.I. では、卸売業が $\Delta 7.7$ から 11.5 へとプラス判断に転じたほか、小売業、サービス業が改善する一方で、製造業が 0.9 から $\Delta 2.8$ へとマイナス判断に転じ、建設業も悪化となりました。

独立行政法人中小企業基盤整備機構が実施し、日本商工会議所他 2 団体が実査した全国調査（以後「全国調査」という。）との比較では、全国調査の業況判断 D.I. が前期 $\Delta 17.4$ から $\Delta 19.3$ へと 1.9 ポイント悪化しているのに対し、当地域の全業種の業況判断 D.I. は前期比で 0.6 ポイント改善しています。また、今期の全業種の業況判断 D.I. は全国調査を 14.4 ポイント上回っているほか、業種別でも業況判断 D.I. は全業種で全国調査の業況判断 D.I. を上回る結果となっています。

来期（2018.4～6）の業況判断 D.I. の見通しは、 $\Delta 4.9$ と今期と変わりがないとしています。業種別では今期とは反対に製造業、建設業で改善を予想する一方で、卸売業、小売業、サービス業では悪化を予想しています。

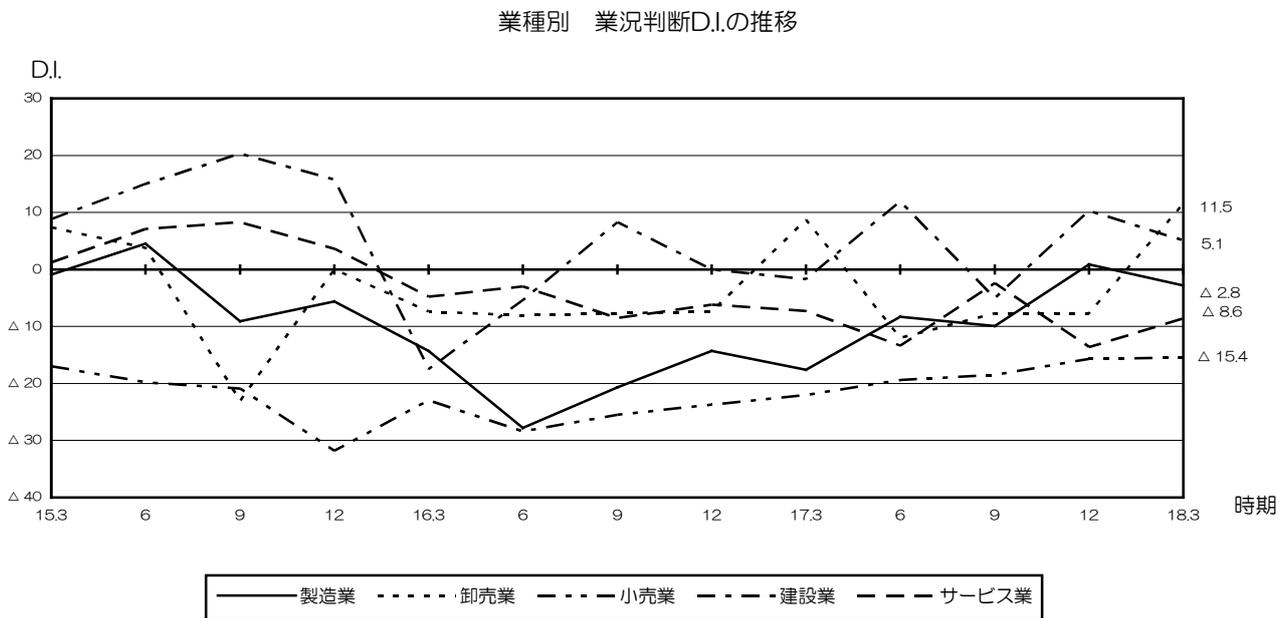
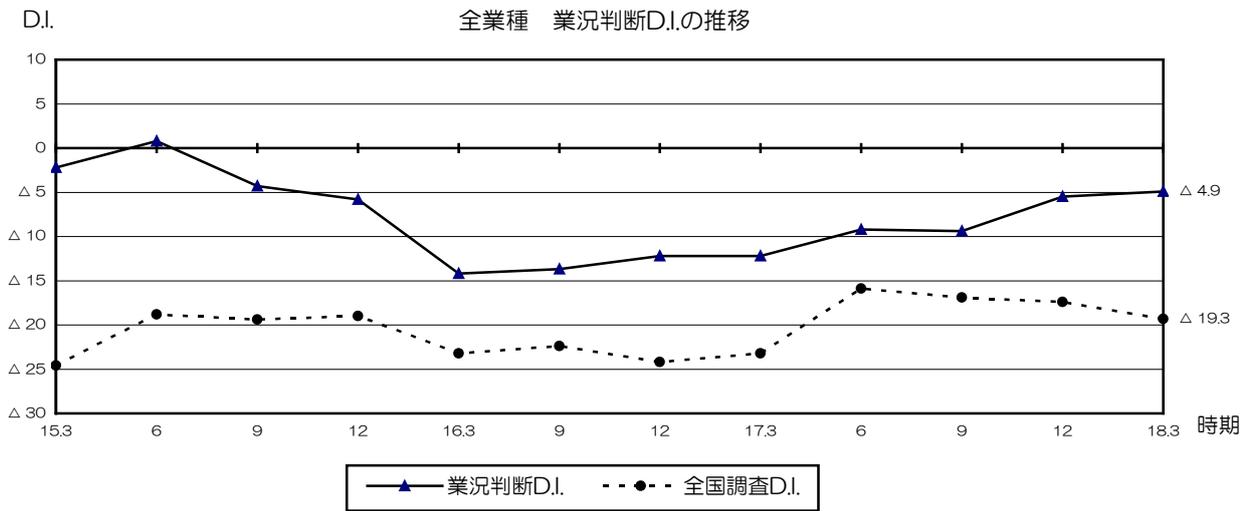
業種別天気図

	前 期 2017.7～9月	今 期 2017.10～12月	全 国 調 査 2017.10～12月	来 期 見 通 し 2018.1～3月
全 業 種				
製 造 業				
卸 売 業				
小 売 業				
建 設 業				
サ ー ビ ス 業				

（この天気図は、景気指標を総合的に判断し作成したものです。また、全国調査は日本商工会議所の調査によるものです。）



2. 業況判断D.I.の推移



(対前年同期比判断D.I.)

	前 期 2017.10~12	今 期 2018.1~3	来 期 見 通 し 2018.4~6	全 国 調 査 2018.1~3
全 業 種	△5.5	△4.9	△4.9	△19.3
製 造 業	0.9	△2.8	0.0	△11.7
卸 売 業	△7.7	11.5	△3.8	△14.8
小 売 業	△15.7	△15.4	△16.5	△33.6
建 設 業	10.3	5.1	13.6	△7.1
サ ー ビ ス 業	△13.6	△8.6	△12.3	△20.0

(全国調査は日本商工会議所の調査によるものです。)

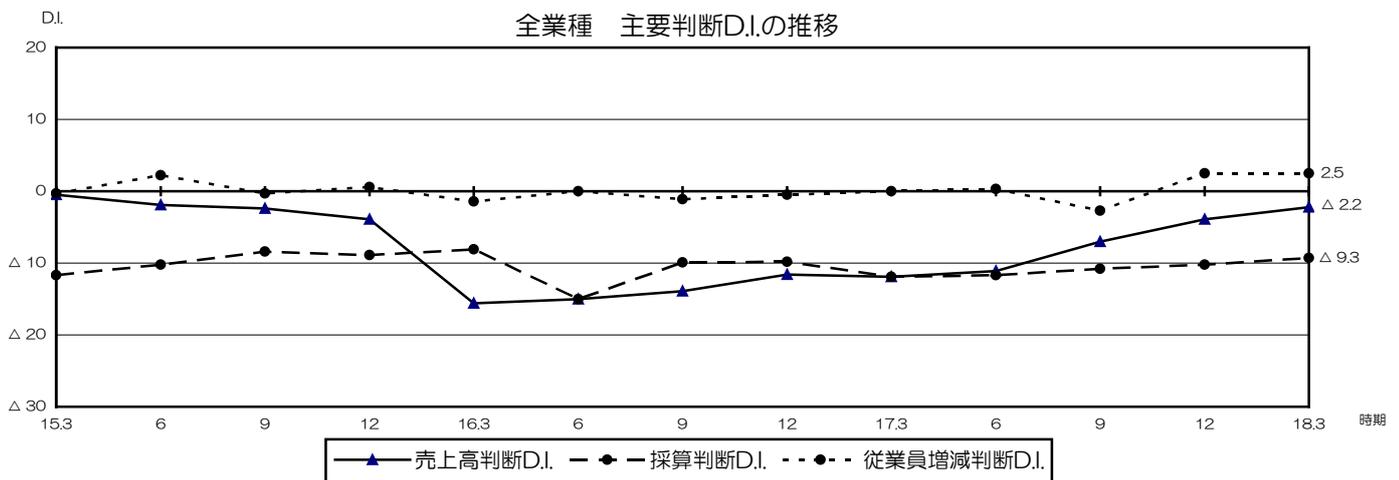
3. 売上高、採算、従業員増減の状況

(対前年同期比判断D.I.)

今期（2018.1～3）の売上高判断D.I.は $\Delta 2.2$ と、前期（2017.10～12： $\Delta 3.9$ ）との比較で1.7ポイント改善しています。また、採算判断D.I.でも0.9ポイント改善しましたが、従業員増減判断D.I.は変わりありませんでした。

	前 期	今 期	来期見通し
売上高	$\Delta 3.9$	$\Delta 2.2$	$\Delta 2.5$
採 算	$\Delta 10.2$	$\Delta 9.3$	$\Delta 8.2$
従業員増減	2.5	2.5	2.2

来期（2018.4～6）の売上高判断D.I.は $\Delta 2.5$ と、今期（2018.1～3： $\Delta 2.2$ ）との比較で0.3ポイント悪化すると見通しています。また、従業員増減判断D.I.でも0.3ポイント悪化を予想していますが、採算判断D.I.では1.1ポイント改善するとしています。



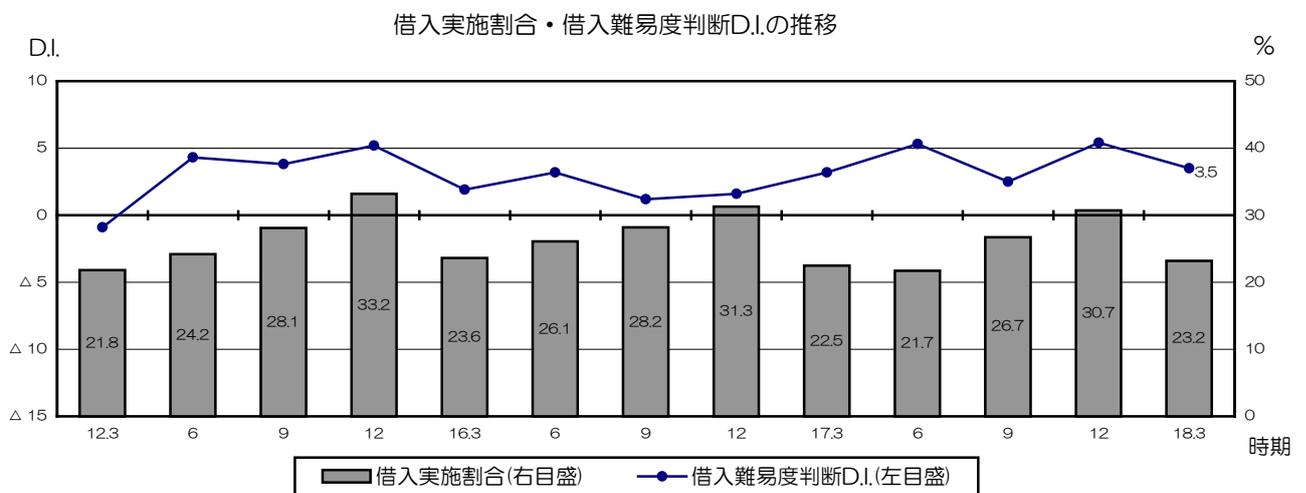
4. 借入金の状況

今期（2018.1～3）借入を実施した企業の割合は23.2%と、前期（2017.10～12：30.7%）との比較で7.5ポイント減少しました。

	前 期	今 期	来 期 予 定
借入実施割合	30.7%	23.2%	19.7%
借入難易度判断D.I.	5.4	3.5	

来期（2018.4～6）借入を予定する企業の割合は19.7%と、今期（2018.1～3：23.2%）との比較で3.5ポイント減少する見込みです。

借入難易度判断D.I.は今期（2018.1～3）3.5と、前期（2017.10～12：5.4）との比較で1.9ポイント悪化しています。



1. 業況

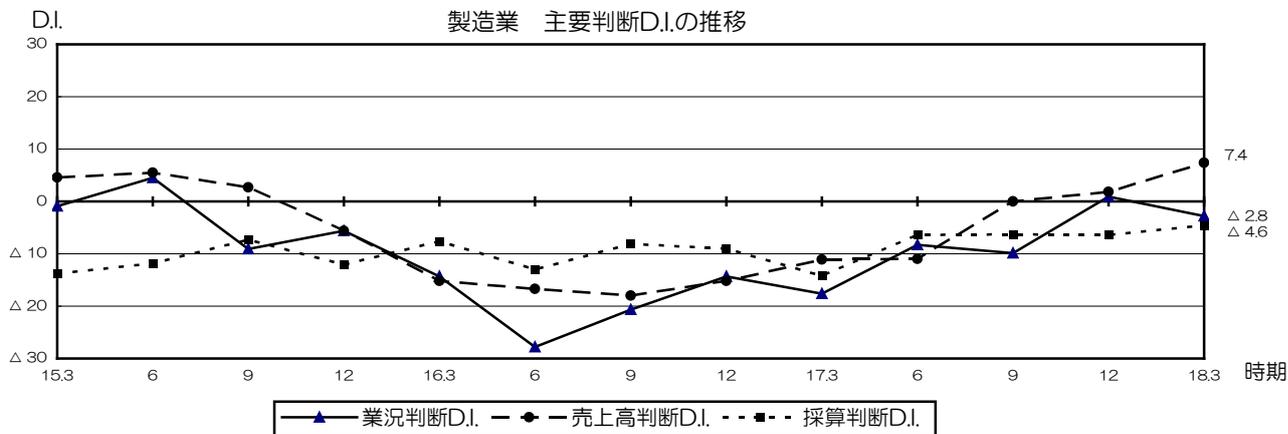
今期 (2018.1~3) の業況判断 D.I.は $\Delta 2.8$ と、前期 (2017.10~12:0.9) との比較で 3.7 ポイント悪化しマイナスの判断に転じましたが、従業員増減、設備操業率を除く項目では前期を上回っています。

全国調査との比較では、業況判断 D.I.で全国調査の $\Delta 11.7$ を 8.9 ポイント上回っているほか、原材料仕入単価以外の項目で全国調査の判断 D.I.を上回る結果となりました。

来期 (2018.4~6) の業況判断 D.I.は 0.0 と、今期 (2018.1~3) との比較で 2.8 ポイントの改善を予想しているほか、売上高、資金繰り、従業員増減の項目で今期を上回ると予想しています。

(対前年同期比判断D.I.)

	前 期	今 期	来期見通し	全国調査
業 況	0.9	$\Delta 2.8$	0.0	$\Delta 11.7$
売上(加工)高	1.8	7.4	10.2	$\Delta 11.1$
資金繰り	$\Delta 6.4$	$\Delta 5.6$	$\Delta 0.9$	$\Delta 10.4$
採 算	$\Delta 6.4$	$\Delta 4.6$	$\Delta 4.6$	$\Delta 16.7$
原材料仕入単価	18.5	25.9	23.1	43.5
原材料在庫	$\Delta 1.9$	2.8	$\Delta 2.8$	$\Delta 3.0$
従業員増減	11.2	6.5	8.4	$\Delta 3.2$
設備操業率	0.9	0.9	0.9	$\Delta 5.1$



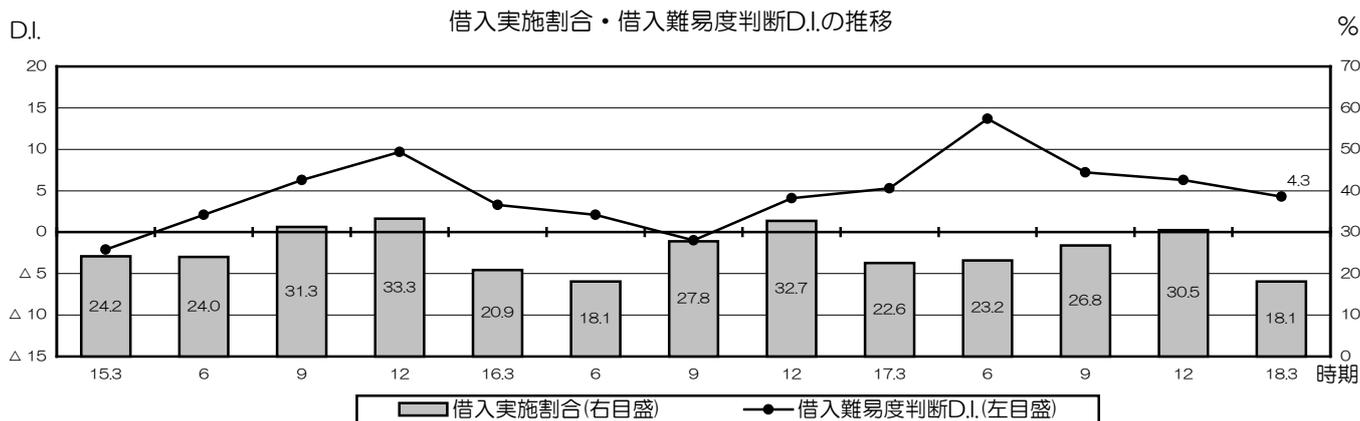
2. 借入金の状況

今期 (2018.1~3) 借入を実施した企業の割合は 18.1%と、前期 (2017.10~12:30.5%) との比較で 12.4 ポイント減少しました。

来期 (2018.4~6) 借入を予定する企業の割合は 10.6%と、今期 (2018.1~3:18.1%) と比較して 7.5 ポイント減少する見込みです。

借入難易度判断 D.I.は今期 (2018.1~3) 4.3 と、前期 (2017.10~12:6.3) との比較では 2.0 ポイント悪化しています。

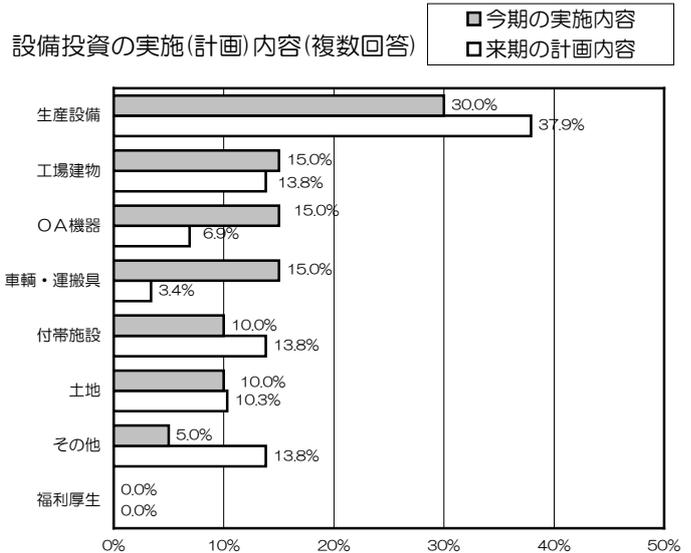
	前 期	今 期	来 期 予 定
借入実施割合	30.5%	18.1%	10.6%
借入難易度判断 D.I.	6.3	4.3	



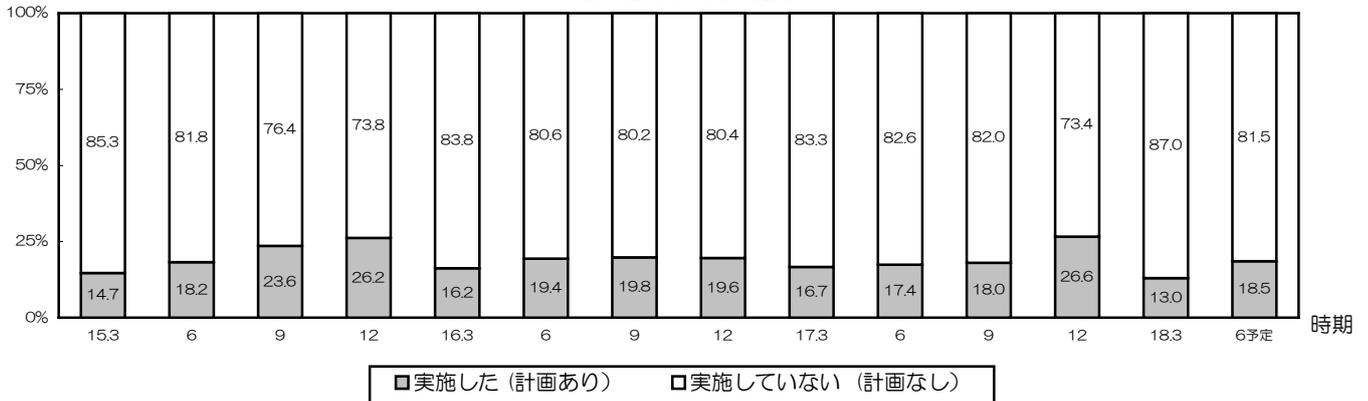
3. 設備投資の状況

今期（2018.1～3）設備投資を実施した企業の割合は13.0%と、前期（2017.10～12：26.6%）との比較で13.6ポイント減少しました。設備投資の内訳は、生産設備が30.0%、工場建物、OA機器、車輛・運搬具が各々15.0%、付帯施設、土地が各々10.0%、その他が5.0%でした。

来期（2018.4～6）設備投資を計画する企業の割合は18.5%と、今期（2018.1～3）と比較して5.5ポイント増加する見込みです。設備投資の内訳は、生産設備が37.9%、工場建物、付帯施設、その他が各々13.8%、土地が10.3%、OA機器が6.9%、車輛・運搬具が3.4%となっています。



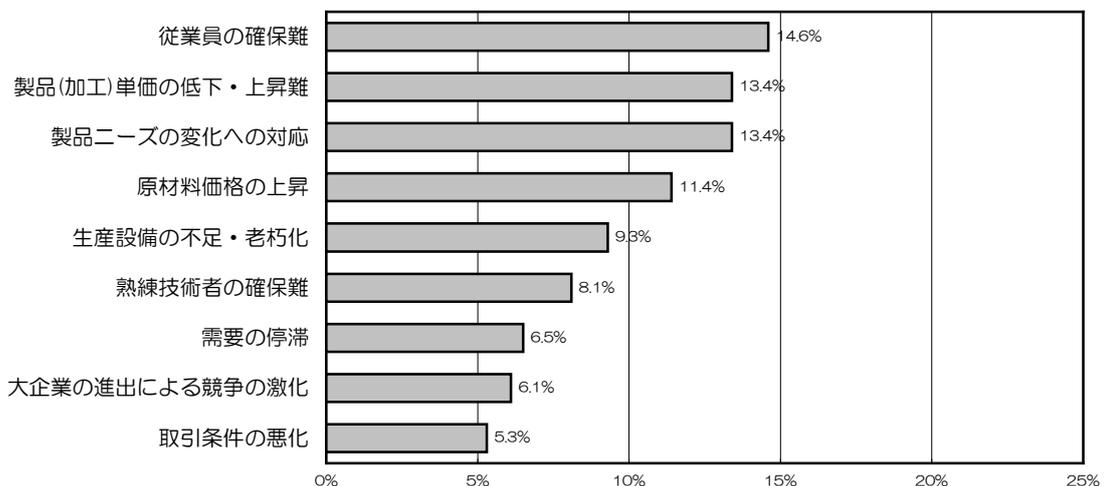
設備投資状況の推移



4. 経営上の問題点

主な経営上の問題点は、第1位が「従業員の確保難」で14.6%、第2位が「製品(加工)単価の低下・上昇難」、「製品ニーズの変化への対応」で各々13.4%、第3位が「原材料価格の上昇」で11.4%、第4位が「生産設備の不足・老朽化」で9.3%、第5位が「熟練技術者の確保難」で8.1%、第6位が「需要の停滞」で6.5%、第7位が「大企業の進出による競争の激化」で6.1%、第8位が「取引条件の悪化」で5.3%という結果になりました。

今期直面している経営上の問題点(複数回答)



卸売業

2018.1~3月期 (回答 26社・・・回答率 89.7%)

1. 業況

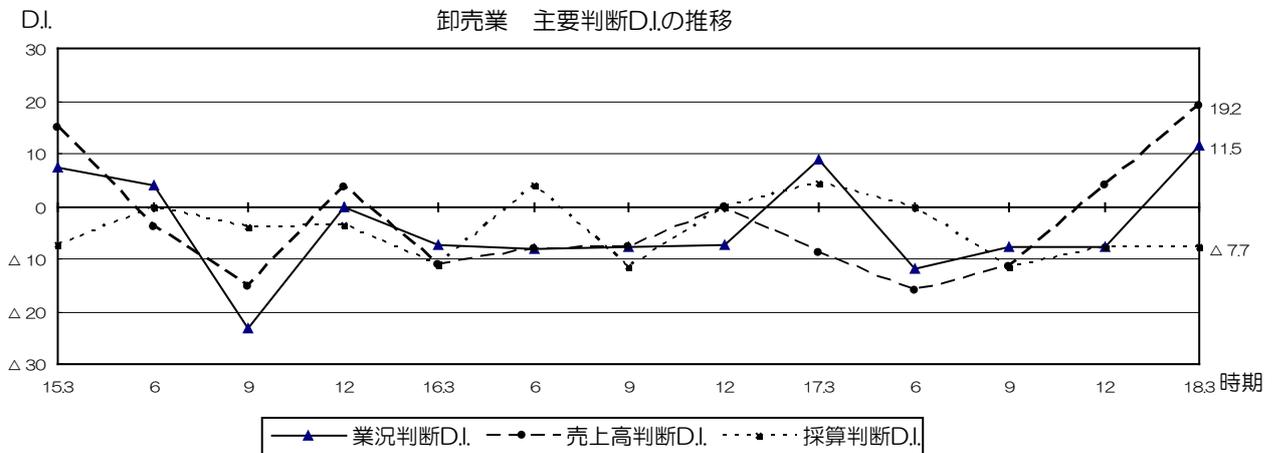
今期(2018.1~3)の業況判断D.I.は $\Delta 11.5$ と、前期(2017.10~12: $\Delta 7.7$)との比較で19.2ポイント改善しプラス判断に転じたほか、売上高、仕入単価の項目で前期を上回っています。

全国調査との比較では、業況判断D.I.で全国調査の $\Delta 14.8$ を26.3ポイント上回っているほか、売上単価、仕入単価以外の項目でも全国調査の判断D.I.を上回る結果となりました。

来期(2018.4~6)の業況判断D.I.は、15.3ポイント悪化の $\Delta 3.8$ とマイナス判断に転じているほか、売上高、資金繰り、売上単価、在庫数量の項目で今期を下回ると予想しています。

(対前年同期比判断D.I.)

	前 期	今 期	来期見通し	全国調査
業 況	$\Delta 7.7$	11.5	$\Delta 3.8$	$\Delta 14.8$
売 上 高	3.8	19.2	$\Delta 8.0$	$\Delta 17.6$
資 金 繰 り	0.0	$\Delta 3.8$	$\Delta 7.7$	$\Delta 8.4$
採 算	$\Delta 7.7$	$\Delta 7.7$	$\Delta 7.7$	$\Delta 18.6$
売 上 単 価	0.0	0.0	$\Delta 11.5$	8.2
仕 入 単 価	7.7	11.5	15.4	34.5
在 庫 数 量	3.8	3.8	0.0	$\Delta 11.7$
従 業 員 増 減	11.5	3.8	3.8	$\Delta 3.0$



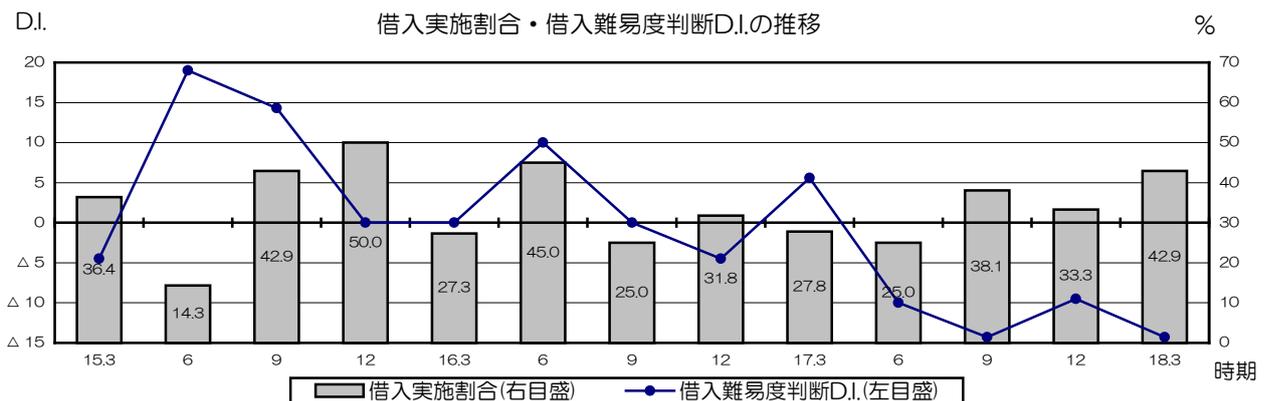
2. 借入金の状況

今期(2018.1~3)借入を実施した企業の割合は42.9%と、前期(2017.10~12: 33.3%)と比較して9.6ポイント増加しました。

来期(2018.4~6)借入を予定する企業の割合は23.8%と、今期(2018.1~3)と比較して19.1ポイント減少する見込みです。

借入難易度判断D.I.は今期(2018.1~3) $\Delta 14.3$ と、前期(2017.10~12: $\Delta 9.5$)との比較では4.8ポイント悪化しています。

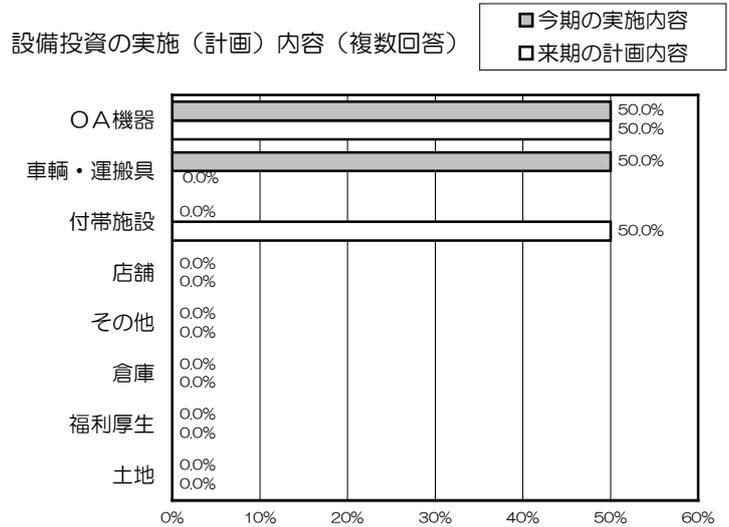
	前 期	今 期	来 期 予 定
借入実施割合	33.3%	42.9%	23.8%
借入難易度判断D.I.	$\Delta 9.5$	$\Delta 14.3$	



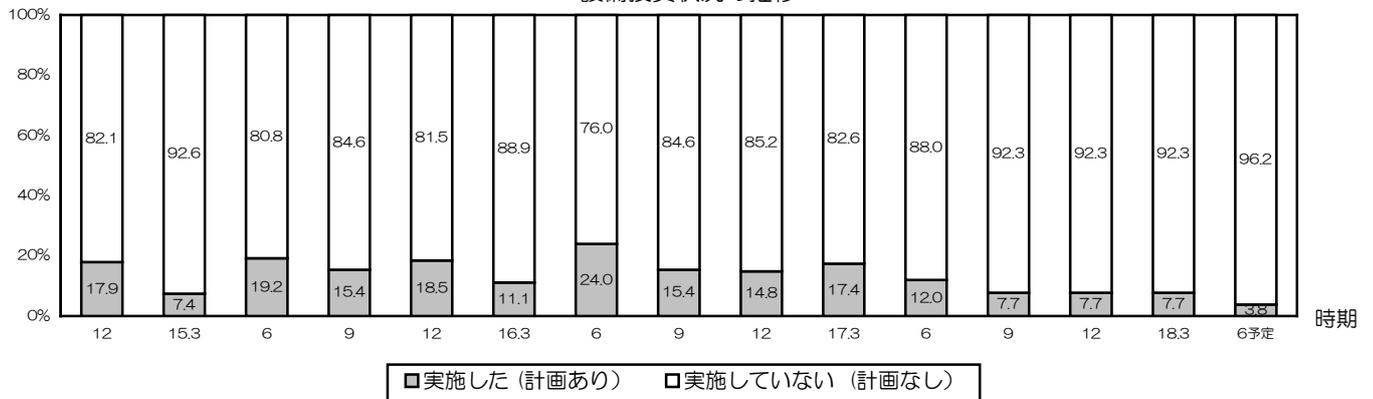
3. 設備投資の状況

今期（2018.1～3）設備投資を実施した企業の割合は 7.7%と、前期（2017.10～12：7.7%）との比較で変化がありません。設備投資の内訳は、OA 機器、車輛・運搬具が各々50.0%でした。

来期（2018.4～6）設備投資を計画する企業の割合は 7.7%と、今期（2018.1～3）との比較で変化がありません。設備投資の内訳は、OA 機器、付帯施設が各々50.0%となっています。



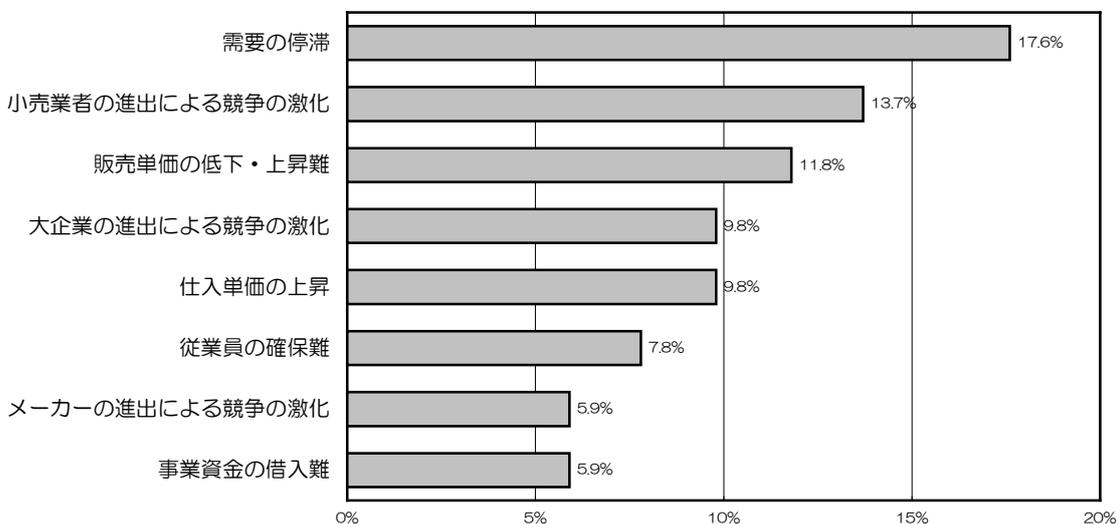
設備投資状況の推移



4. 経営上の問題点

主な経営上の問題点は、第1位が「需要の停滞」で 17.6%、第2位が「小売業者の進出による競争の激化」で 13.7%、第3位が「販売単価の低下・上昇難」で 11.8%、第4位が「大企業の進出による競争の激化」、「仕入単価の上昇」で各々9.8%、第5位が「従業員の確保難」で 7.8%、第6位が「メーカーの進出による競争の激化」、「事業資金の借入難」で各々5.9%という結果になりました。

今期直面している経営上の問題点（複数回答）



1. 業況

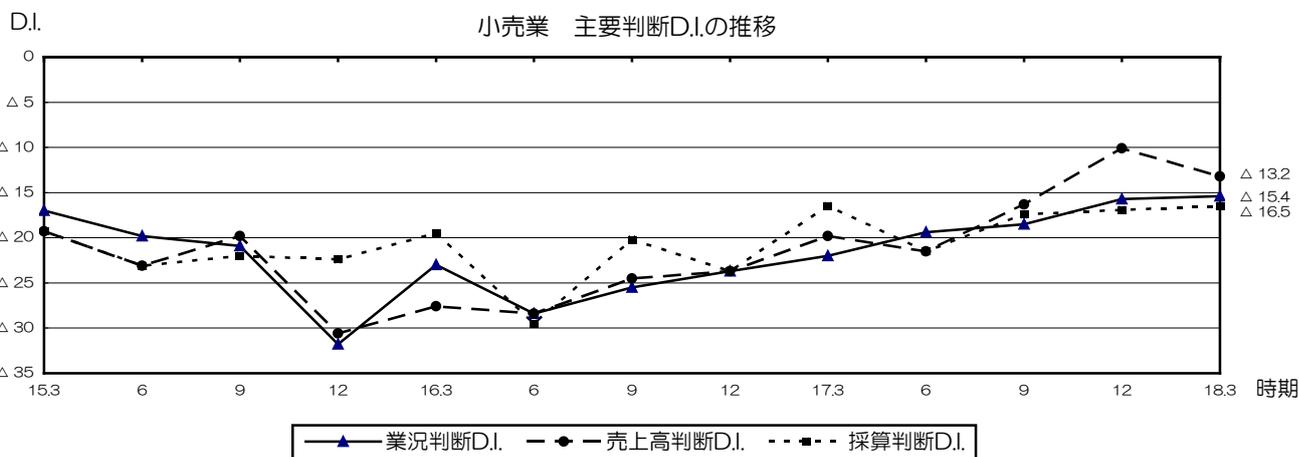
今期(2018.1~3)の業況判断D.I.は $\Delta 15.4$ と、前期(2017.10~12: $\Delta 15.7$)との比較で0.3ポイント改善し、2016.7~9期以降7期連続で改善している一方で、売上高、資金繰り、売上単価の項目で前期を下回る結果となっています。

全国調査との比較では、業況判断D.I.で全国調査の $\Delta 33.6$ を18.2ポイント上回っているほか、仕入単価以外の項目で全国調査の判断D.I.を上回る結果となりました。

来期(2018.4~6)の業況判断D.I.は $\Delta 16.5$ と、今期(2018.1~3: $\Delta 15.4$)との比較で1.1ポイント悪化するとしており、緩やかに続いた回復基調の減速を予想しています。

(対前年同期比判断D.I.)

	前 期	今 期	来期見通し	全国調査
業 況	$\Delta 15.7$	$\Delta 15.4$	$\Delta 16.5$	$\Delta 33.6$
売 上 高	$\Delta 10.1$	$\Delta 13.2$	$\Delta 14.3$	$\Delta 34.6$
資 金 繰 り	$\Delta 13.5$	$\Delta 14.3$	$\Delta 13.2$	$\Delta 23.6$
採 算	$\Delta 16.9$	$\Delta 16.5$	$\Delta 15.4$	$\Delta 34.4$
売上単価	$\Delta 6.7$	$\Delta 8.8$	$\Delta 9.9$	$\Delta 21.8$
仕入単価	14.6	17.6	12.1	23.6
在庫数量	$\Delta 6.7$	2.2	0.0	$\Delta 19.9$
従業員増減	1.1	1.1	2.2	$\Delta 6.5$



2. 借入金の状況

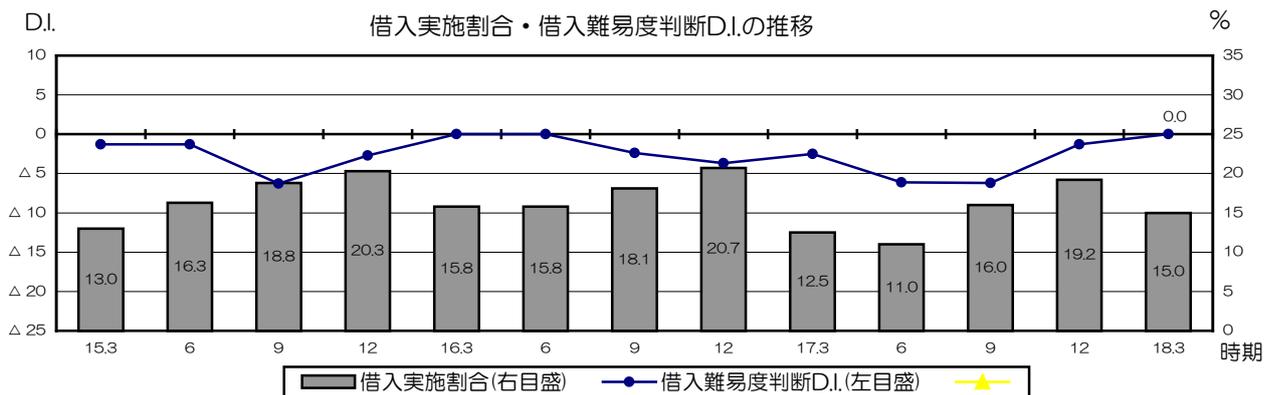
今期(2018.1~3)借入を実施した企業の割合は15.0%と、前期(2017.10~12: 19.2%)と比較して4.2ポイント減少しました。

来期(2018.4~6)借入を予定する企業の割合は16.3%と、1.3ポイント増加する見込みです。

借入難易度判断D.I.は今期(2018.1~3)0.0

と、前期(2017.10~12: $\Delta 1.3$)との比較で1.3ポイント改善しています。

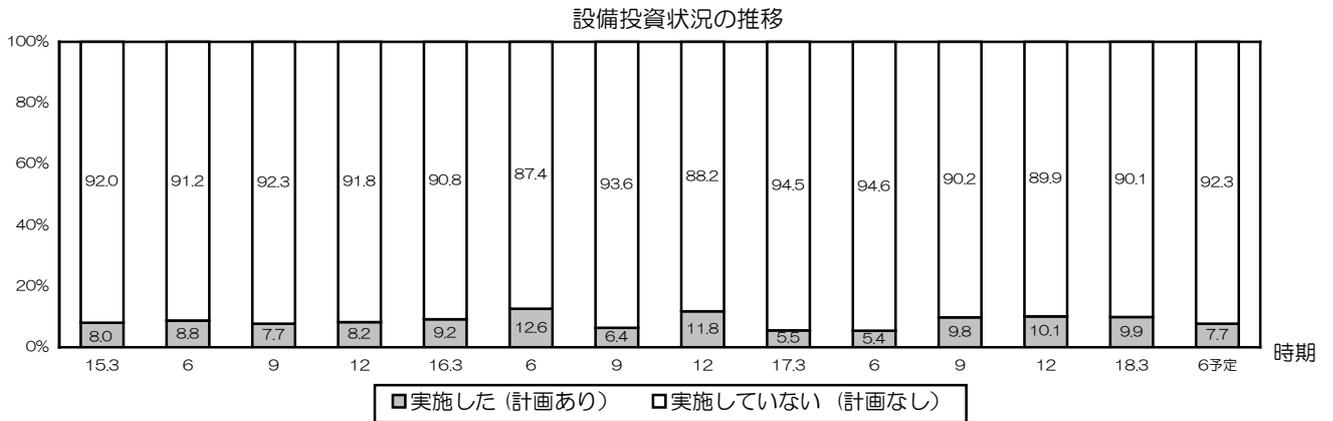
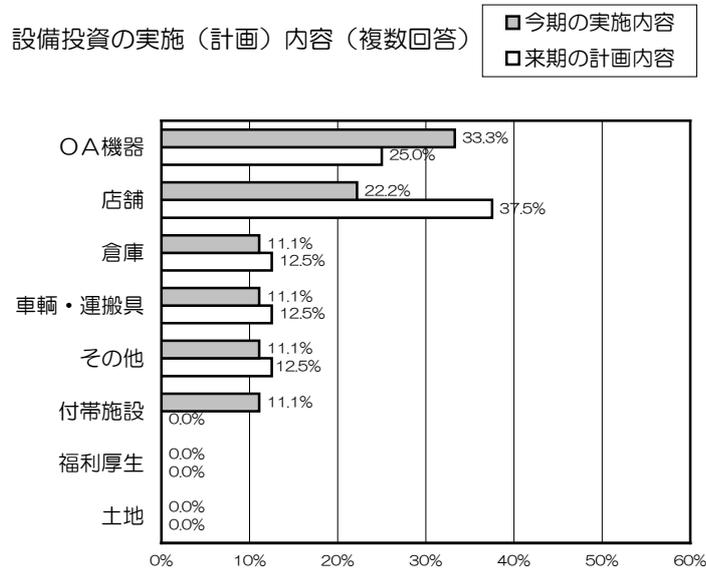
	前 期	今 期	来 期 予 定
借入実施割合	19.2%	15.0%	16.3%
借入難易度判断D.I.	$\Delta 1.3$	0.0	



3. 設備投資の状況

今期（2018.1～3）設備投資を実施した企業の割合は9.9%と、前期（2017.10～12：10.1%）との比較で0.2ポイント減少しました。設備投資の内訳は、OA機器が33.3%、店舗が22.2%、倉庫、車両・運搬具、その他、付帯施設が各々11.1%でした。

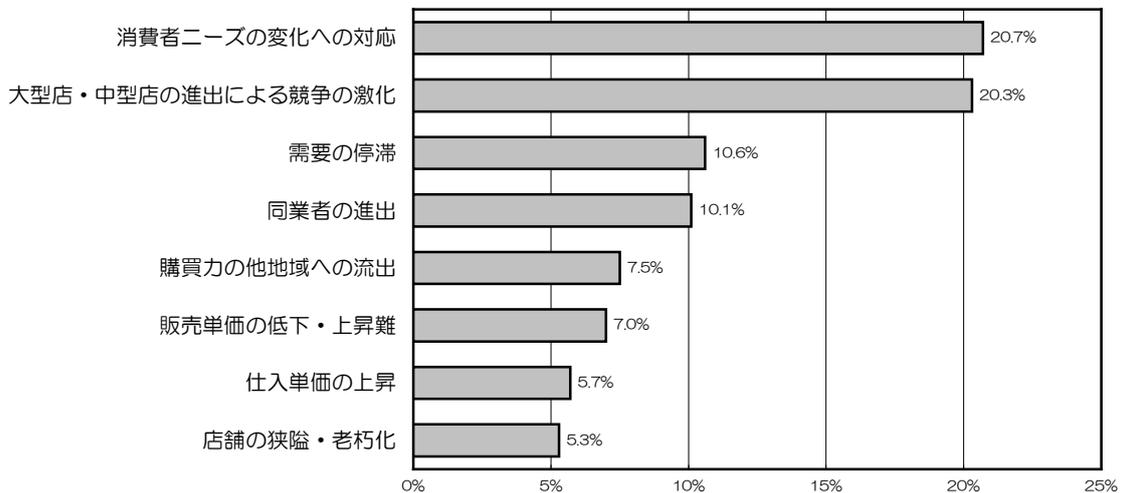
来期（2018.4～6）設備投資を計画する企業の割合は7.7%と、今期（2018.1～3：9.9）と比較して2.2ポイント減少する見込みです。設備投資の内訳は、店舗が37.5%、OA機器が25.0%、倉庫、車両・運搬具、その他、付帯施設が各々11.1%となっています。



4. 経営上の問題点

経営上の問題点は、第1位が「消費者ニーズの変化への対応」で20.7%、第2位が「大型店・中型店の進出による競争の激化」で20.3%、第3位が「需要の停滞」で10.6%、第4位が「同業者の進出」で10.1%、第5位が「購買力の他地域への流出」で7.5%、第6位が「販売単価の低下・上昇難」で7.0%、第7位が「仕入単価の上昇」で5.7%、第8位が「店舗の狭隘・老朽化」で5.3%という結果になりました。

今期直面している経営上の問題点（複数回答）



1. 業況

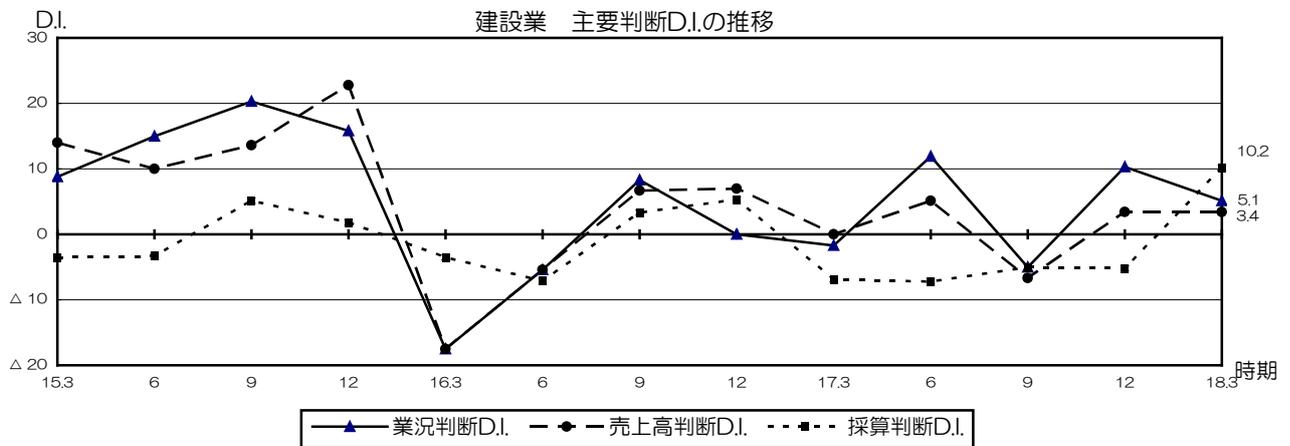
今期 (2018.1~3) の業況判断 D.I. は 5.1 と、前期 (2017.10~12 : 10.3) との比較で 5.2 ポイント悪化している一方で、資金繰り、採算、材料単価の項目で前期を上回っています。

全国調査との比較では、業況判断 D.I. で全国調査の $\Delta 7.1$ を 12.2 ポイント上回っているほか、材料単価以外の項目で全国調査の判断 D.I. を上回る結果となりました。

来期 (2018.4~6) の業況判断 D.I. は 13.6 と、今期 (2018.1~3) との比較で 8.5 ポイント改善すると予想しているほか、採算以外の項目で今期を上回ると予想しています。

(対前年同期比判断 D.I.)

	前 期	今 期	来期見通し	全国調査
業 況	10.3	5.1	13.6	$\Delta 7.1$
売 上 高	3.4	3.4	8.5	$\Delta 10.2$
資 金 繰 り	1.7	6.8	10.2	$\Delta 5.1$
採 算	$\Delta 5.2$	10.2	10.2	$\Delta 15.9$
受 注 額	8.6	5.1	8.5	$\Delta 14.5$
材 料 単 価	17.2	22.0	27.1	33.8
従 業 員 増 減	3.4	$\Delta 1.7$	1.7	$\Delta 5.1$



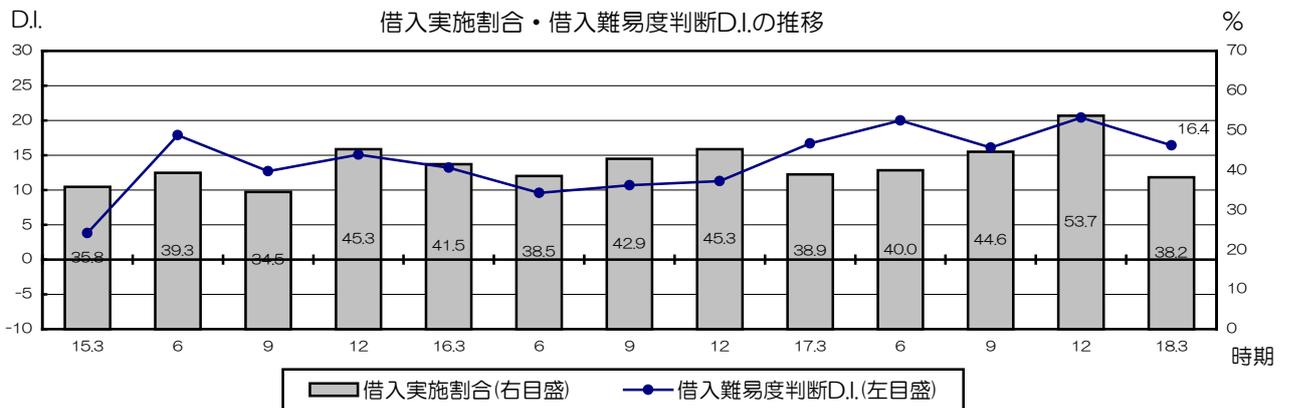
2. 借入金の状況

今期 (2018.1~3) 借入を実施した企業の割合は 38.2%と、前期 (2017.10~12 : 53.7%) と比較して 15.5 ポイント減少しました。

来期 (2018.4~6) 借入を予定する企業の割合は 40.0%と 1.8 ポイント増加する見込みです。

借入難易度判断 D.I. は今期 (2018.1~3) 16.4 と、前期 (2017.10~12 : 20.4) との比較では 4.0 ポイント悪化しています。

	前 期	今 期	来 期 予 定
借入実施割合	53.7%	38.2%	40.0%
借入難易度判断 D.I.	20.4	16.4	

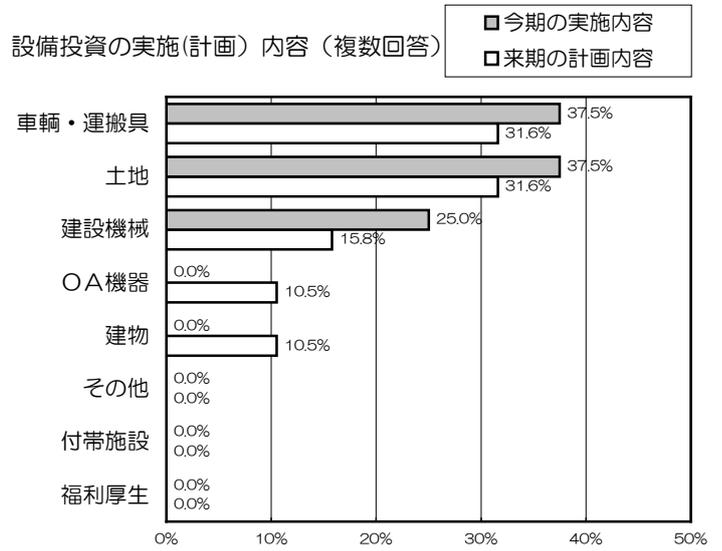


3. 設備投資の状況

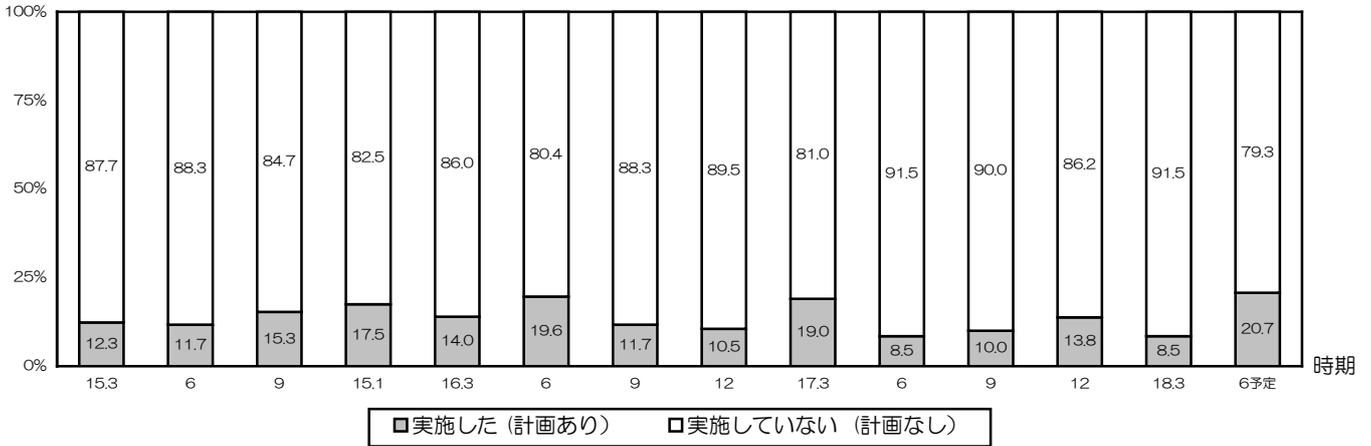
今期（2018.1～3）設備投資を実施した企業の割合は8.5%と、前期（2017.10～12：13.8%）との比較で5.3ポイント減少しました。

設備投資の内訳は、車輛・運搬具、土地が各々37.5%、建設機械が25.0%でした。

来期（2018.4～6）設備投資を計画する企業の割合は20.7%と、今期（2018.1～3）との比較で12.2ポイント増加する見込みです。設備投資の内訳は、車輛・運搬具、土地が各々31.6%、建設機械が15.8%、OA機器、建物が各々10.5%となっています。



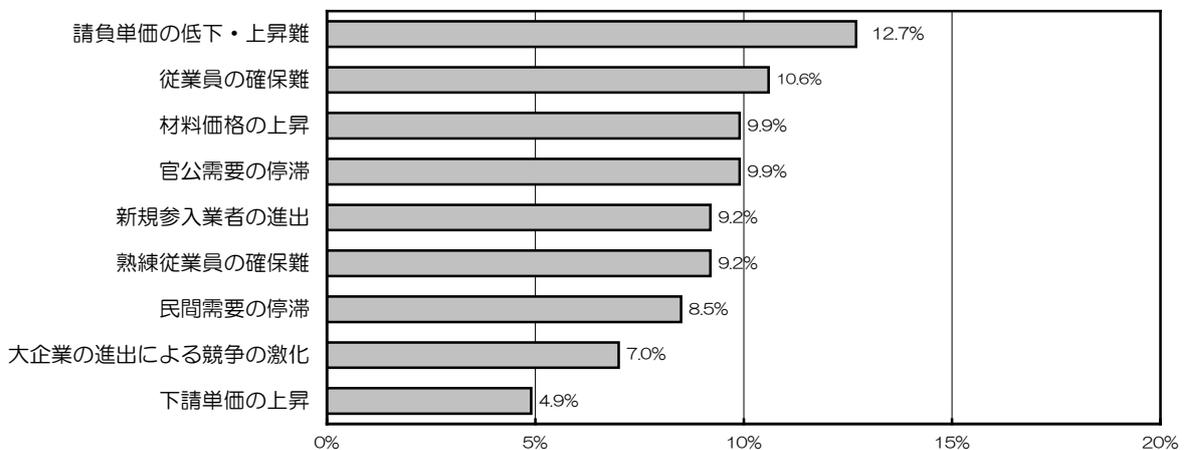
設備投資状況の推移



4. 経営上の問題点

経営上の問題点は、第1位が「請負単価の低下・上昇難」で12.7%、第2位が「従業員の確保難」で10.6%、第3位が「材料価格の上昇」、「官公需要の停滞」で各々9.9%、第4位が「新規参入業者の進出」、「熟練従業員の確保難」で各々9.2%、第5位が「民間需要の停滞」で8.5%、第6位が「大企業の進出による競争の激化」で7.0%、第7位が「下請単価の上昇」で4.9%という結果になりました。

今期直面している経営上の問題点（複数回答）



サービス業

2018.1~3月期 (回答 81 社・・・回答率 94.2%)

1. 業況

(対前年同期比判断D.I.)

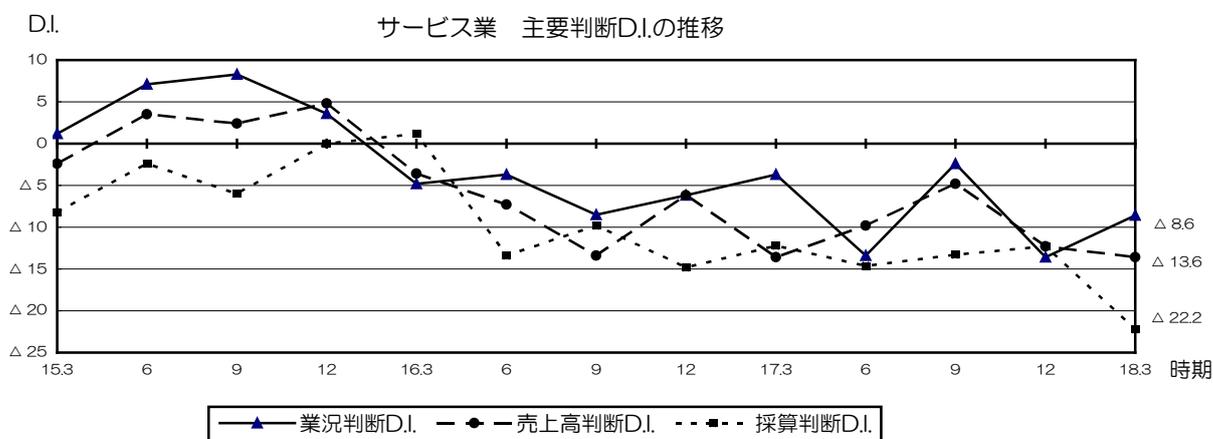
今期(2018.1~3)の業況判断D.I.は $\Delta 8.6$ と、前期(2017.10~12: $\Delta 13.6$)との比較で5.0ポイント改善している一方で、売上高、採算、客単価、仕入単価の項目で前期を下回っています。

全国調査との比較では、業況判断D.I.で全国調査の $\Delta 20.0$ を11.4ポイント上回っているほか、客単価、仕入単価以外の項目で全国調査の判断D.I.を上回っています。

来期(2018.4~6)の業況判断D.I.は $\Delta 12.3$ と、

今期(2018.1~3)との比較で3.7ポイント悪化すると予想しているほか、資金繰り、従業員増減の項目で悪化すると予想しています。

	前 期	今 期	来期見通し	全国調査
業 況	$\Delta 13.6$	$\Delta 8.6$	$\Delta 12.3$	$\Delta 20.0$
売 上 高	$\Delta 12.3$	$\Delta 13.6$	$\Delta 12.3$	$\Delta 20.8$
資 金 繰 り	$\Delta 12.3$	$\Delta 8.6$	$\Delta 13.6$	$\Delta 15.7$
採 算	$\Delta 12.3$	$\Delta 22.2$	$\Delta 18.5$	$\Delta 24.5$
客 単 価	$\Delta 7.4$	$\Delta 14.8$	$\Delta 7.4$	$\Delta 9.3$
仕 入 単 価	18.5	13.6	13.6	33.3
従業員増減	$\Delta 2.5$	0.0	$\Delta 6.3$	$\Delta 6.4$



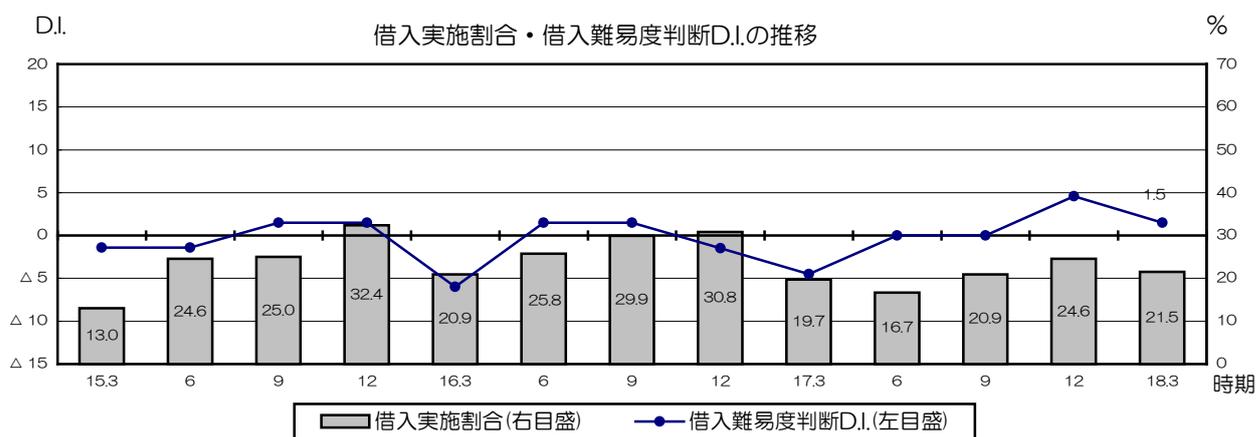
2. 借入金の状況

今期(2018.1~3)借入を実施した企業の割合は21.5%と、前期(2017.10~12)の24.6%と比較して3.1ポイント減少しました。

来期(2018.4~6)借入を予定する企業の割合は18.5%と、今期(2018.1~3)との比較で3.0ポイント減少する見込みです。

借入難易度判断D.I.は今期(2018.1~3)1.5と、前期(2017.10~12: 4.6)との比較では3.1ポイント悪化しています。

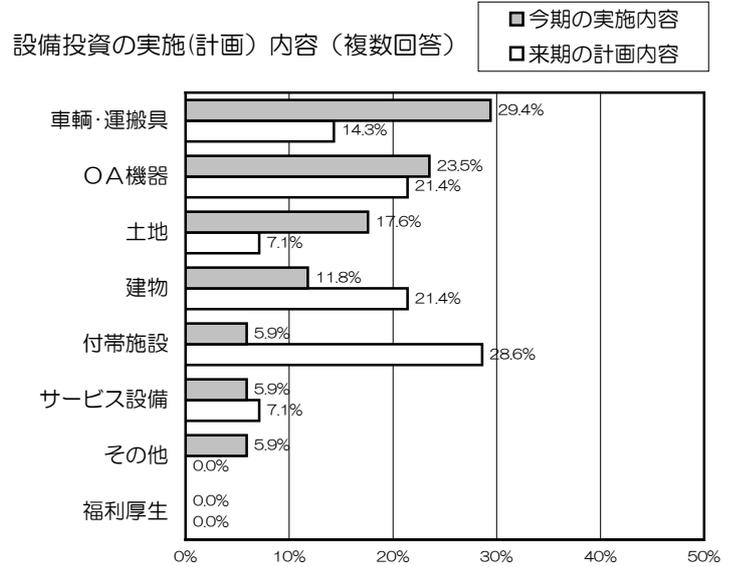
	前 期	今 期	来 期 予 定
借入実施割合	24.6%	21.5%	18.5%
借入難易度判断D.I.	4.6	1.5	



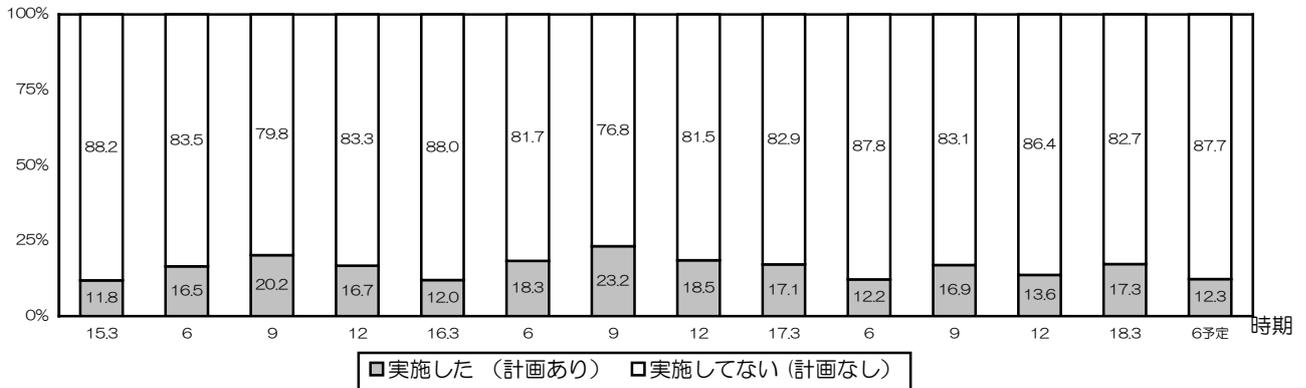
3. 設備投資の状況

今期（2018.1～3）設備投資を実施した企業の割合は17.3%と、前期（2017.10～12：13.6%）との比較で3.7ポイント増加しました。設備投資の内訳は、車輜・運搬具が29.4%、OA機器が23.5%、土地が17.6%、建物が11.8%、付帯施設、サービス設備、その他が各々5.9%でした。

来期（2018.4～6）設備投資を計画する企業の割合は12.3%と、今期（2018.1～3）と比較して5.0ポイント減少の見込みです。設備投資の内訳は、付帯施設が28.6%、OA機器、建物が各々21.4%、車輜・運搬具が14.3%、土地、サービス設備が各々7.1%となっています。



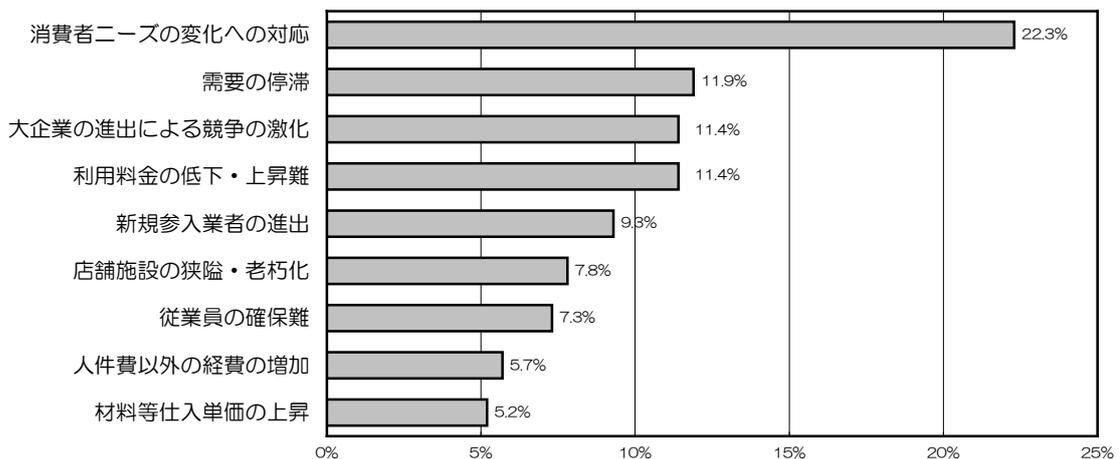
設備投資状況の推移



4. 経営上の問題点

主な経営上の問題点は、第1位が「消費者ニーズの変化への対応」で22.3%、第2位が「需要の停滞」で11.9%、第3位が「大企業の進出による競争の激化」、「利用料金の低下・上昇難」で11.4%、第4位が「新規参入業者の進出」で9.8%、第5位が「店舗施設の狭隘・老朽化」で7.8%、第6位が「従業員の確保難」で7.3%、第7位が「人件費以外の経費の増加」で5.7%、第8位が「材料等仕入単価の上昇」で5.2%という結果になりました。

今期直面している経営上の問題点（複数回答）

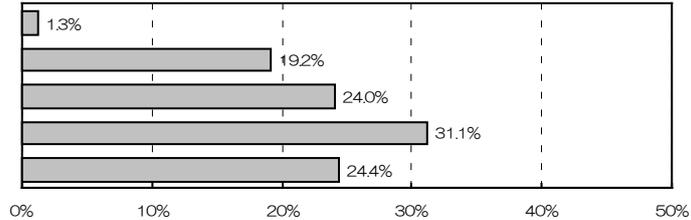


「経営者の健康管理と事業の継続について」

問1 貴社の社長(代表者)の年齢階層はいずれに属しますか。下記の1～5の中から1つ選んでお答えください。また、現在の社長(代表者)は何代目ですか。下記の6～10の中から1つ選んでお答えください。

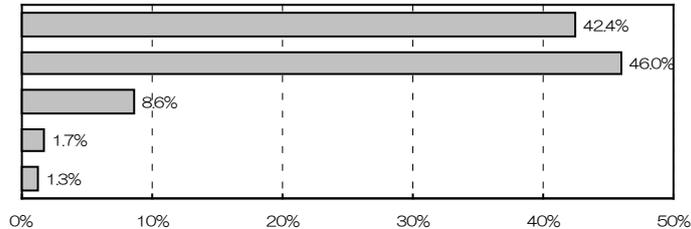
1. 20歳代、30歳代
2. 40歳代
3. 50歳代
4. 60歳代
5. 70歳以上

<社長の年齢階層>



6. 創業者
7. 2代目
8. 3代目
9. 4代目
10. 5代目以上

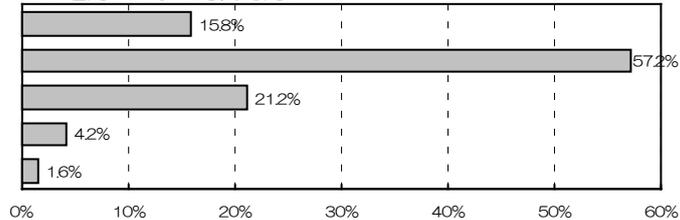
<社長の代>



問2 健全な経営のためには、社長(代表者)の健康が大切です。社長(代表者)の先月の労働時間(経営に費やした時間)は、1週間当たりにするとどの程度ですか。1～5の中から1つ選んでお答えください。また、健康診断をどの程度の頻度で受けていますか。下記の6～10の中から1つ選んでお答えください。

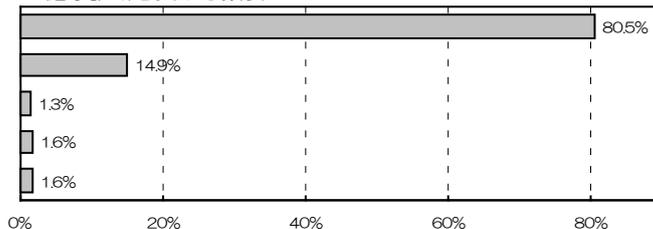
1. 40時間未満
2. 40時間以上60時間未満
3. 60時間以上80時間未満
4. 80時間以上100時間未満
5. 100時間以上

<1週間当たりの労働時間>



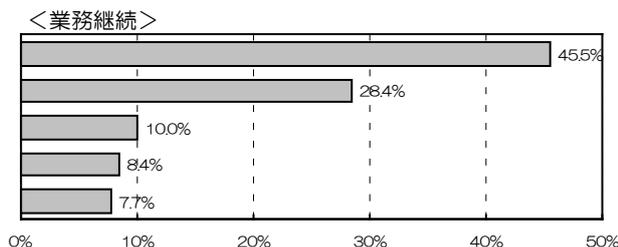
6. 1年に1回以上
7. 2～4年に1回
8. 5～10年に1回
9. 10年以上受けていない
10. 受けたことがない

<健康診断を受ける頻度>

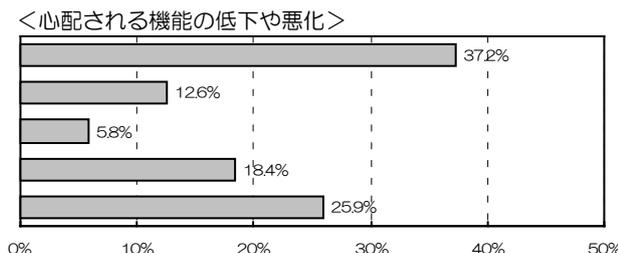


問3 仮に今、社長（代表者）の方がケガや病気等で1か月間の休養を余儀なくされたとします。貴社では、どの程度の業務継続が可能ですか。1～5の中から1つ選んでお答えください。また、休養中に特に心配される貴社の機能の低下や悪化はどのようなものですか。6～10の中から、最も当てはまるものを1つ選んでお答えください。

1. 通常通りの業務継続が可能
2. 主要業務に限り継続可能
3. 大幅に業務を縮小した上で継続可能
4. 業務継続は不可能（休業・廃業）
5. わからない

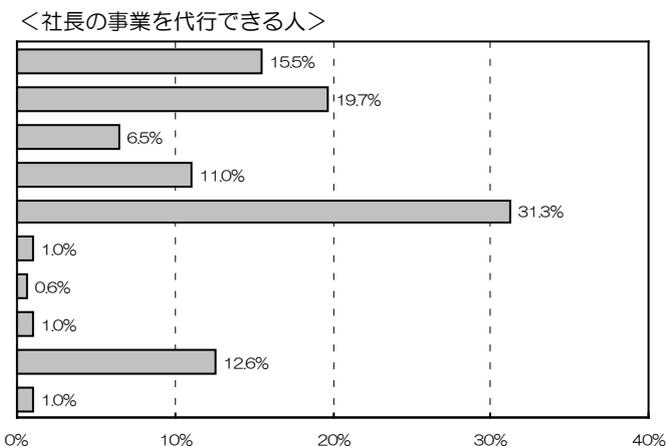


6. 営業機能や販売機能の低下
7. 生産機能や仕入機能の低下
8. 資金繰りの悪化
9. わからない
10. 心配していない



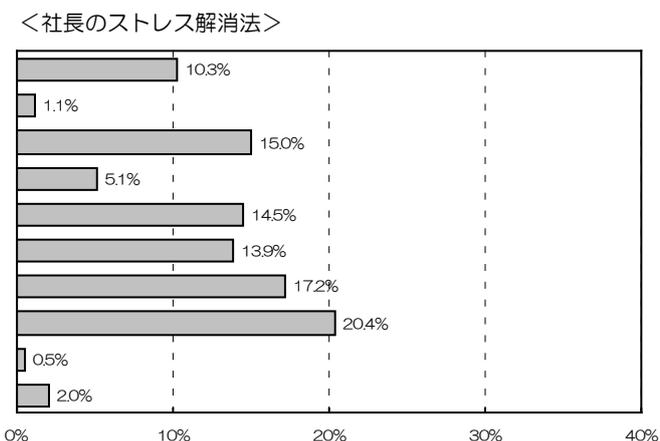
問4 問3に続いて、社長（代表者）の方がケガや病気等で1か月間の休養を余儀なくされたとします。貴社には、休養中の社長（代表者）の事業を代行できる人がいますか。1～10の中から1つ、最も当てはまるものを選んでお答えください。

1. 配偶者
2. 子供
3. 親
4. 親族（上記1～3以外）
5. 役員・従業員（親族以外）
6. 販売先・仕入先
7. 同業他社
8. その他
9. 自分の代わりはいない
10. 休廃業するから代わりは必要ない



問5 社長（代表者）にお尋ねします。あなたのストレス解消法は何ですか。1～10の中から最大3つまで選んでお答えください。

1. 仕事における達成感
2. 社内での余暇活動（社員旅行等）
3. 家族とのふれあい
4. 地域活動、団体活動、ボランティア等
5. 飲食
6. 睡眠
7. 運動・スポーツ
8. 趣味・娯楽（運動・スポーツ以外）
9. その他
10. ストレス解消法はない



集計結果 (2018.1~3月期)

(単位：%)

		今期の状況								来期見通し			
		対前年同期比				対前期比				対前年同期比			
		良い	不変	悪い	D.I.	良い	不変	悪い	D.I.	良い	不変	悪い	D.I.
全業種	業況	13.7	67.7	18.6	△4.9	10.4	71.0	18.6	△8.2	10.1	74.8	15.1	△4.9
	売上	18.4	61.1	20.5	△2.2	14.6	64.8	20.6	△6.0	13.2	71.2	15.7	△2.5
	資金繰り	6.3	81.1	12.6	△6.3	5.5	82.5	12.1	△6.6	5.5	83.6	11.0	△5.5
	採算	8.2	74.2	17.5	△9.3					6.3	79.2	14.5	△8.2
	従業員増減	8.5	85.4	6.1	2.5					5.5	91.1	3.3	2.2
	借入難易度					13.0	77.5	9.5	3.5				
製造業	業況	19.4	58.3	22.2	△2.8	16.7	63.9	19.4	△2.8	13.9	72.2	13.9	0.0
	売上	25.9	55.6	18.5	7.4	19.4	60.2	20.4	△0.9	21.3	67.6	11.1	10.2
	資金繰り	8.3	77.8	13.9	△5.6	8.3	83.3	8.3	0.0	8.3	82.4	9.3	△0.9
	採算	10.2	75.0	14.8	△4.6					8.3	78.7	13.0	△4.6
	原材料単価	25.9	74.1	0.0	25.9					23.1	76.9	0.0	23.1
	原材料在庫	7.4	88.0	4.6	2.8					2.8	91.7	5.6	△2.8
	従業員増減	15.0	76.6	8.4	6.5					10.3	87.9	1.9	8.4
	設備操業率	13.0	75.0	12.0	0.9					8.3	84.3	7.4	0.9
借入難易度					14.9	74.5	10.6	4.3					
卸売業	業況	23.1	65.4	11.5	11.5	11.5	76.9	11.5	0.0	7.7	80.8	11.5	△3.8
	売上	30.8	57.7	11.5	19.2	12.0	76.0	12.0	0.0	8.0	76.0	16.0	△8.0
	資金繰り	3.8	88.5	7.7	△3.8	3.8	84.6	11.5	△7.7	3.8	84.6	11.5	△7.7
	採算	11.5	69.2	19.2	△7.7					3.8	84.6	11.5	△7.7
	売上単価	7.7	84.6	7.7	0.0					0.0	88.5	11.5	△11.5
	仕入単価	15.4	80.8	3.8	11.5					15.4	84.6	0.0	15.4
	在庫数量	7.7	88.5	3.8	3.8					3.8	92.3	3.8	0.0
	従業員増減	3.8	96.2	0.0	3.8					3.8	96.2	0.0	3.8
	借入難易度					0.0	85.7	14.3	△14.3				
小売業	業況	6.6	71.4	22.0	△15.4	2.2	74.7	23.1	△20.9	4.4	74.7	20.9	△16.5
	売上	12.1	62.6	25.3	△13.2	8.8	67.0	24.2	△15.4	7.7	70.3	22.0	△14.3
	資金繰り	2.2	81.3	16.5	△14.3	1.1	82.4	16.5	△15.4	1.1	84.6	14.3	△13.2
	採算	3.3	76.9	19.8	△16.5					1.1	82.4	16.5	△15.4
	売上単価	5.5	80.2	14.3	△8.8					3.3	83.5	13.2	△9.9
	仕入単価	18.7	80.2	1.1	17.6					14.3	83.5	2.2	12.1
	在庫数量	5.5	91.2	3.3	2.2					5.5	89.0	5.5	0.0
	従業員増減	4.5	92.1	3.4	1.1					3.4	95.5	1.1	2.2
	借入難易度					13.8	72.5	13.8	0.0				
建設業	業況	15.3	74.6	10.2	5.1	13.6	76.3	10.2	3.4	20.3	72.9	6.8	13.6
	売上	18.6	66.1	15.3	3.4	22.0	67.8	10.2	11.9	18.6	71.2	10.2	8.5
	資金繰り	10.2	86.4	3.4	6.8	10.2	88.1	1.7	8.5	11.9	86.4	1.7	10.2
	採算	15.3	79.7	5.1	10.2					13.6	83.1	3.4	10.2
	受注額	20.3	64.4	15.3	5.1					18.6	71.2	10.2	8.5
	材料単価	22.0	78.0	0.0	22.0					27.1	72.9	0.0	27.1
	従業員増減	6.8	84.7	8.5	△1.7					8.5	84.7	6.8	1.7
	借入難易度					18.2	80.0	1.8	16.4				
サービス業	業況	9.9	71.6	18.5	△8.6	8.6	70.4	21.0	△12.3	4.9	77.8	17.3	△12.3
	売上	11.1	64.2	24.7	△13.6	9.9	63.0	27.2	△17.3	6.2	75.3	18.5	△12.3
	資金繰り	6.2	79.0	14.8	△8.6	3.7	76.5	19.8	△16.0	2.5	81.5	16.0	△13.6
	採算	4.9	67.9	27.2	△22.2					4.9	71.6	23.5	△18.5
	客単価	2.5	80.2	17.3	△14.8					3.7	85.2	11.1	△7.4
	仕入単価	17.3	79.0	3.7	13.6					16.0	81.5	2.5	13.6
	従業員増減	6.3	87.5	6.3	0.0					0.0	93.8	6.3	△6.3
	借入難易度					9.2	83.1	7.7	1.5				

伊勢崎佐波地区 景気動向調査 No.60

発行 伊勢崎商工会議所 経営支援課

群馬県伊勢崎市昭和町3919

TEL0270-24-2211

<http://www.isesaki-ccior.jp>

アイオー信用金庫 経営企画部

群馬県伊勢崎市中央町20番17号

TEL0270-30-5001

<http://www.io-web.jp>

このレポートは、調査時点における当金庫及び当商工会議所の見解をまとめたもので、情報提供を目的としております。また、当金庫及び当商工会議所が信頼できると判断した情報やデータに基づいてこの資料は作成しておりますが、この情報の正確性・安全性等について当金庫及び当商工会議所が保証するものではありません。

このレポートの活用に関しては何の制限もございませんが、施策の決定や実行などの最終決定は、ご自身の判断でなされますようお願いいたします。